

令和6年度

肢体不自由教育部門

中学部

第3学年

③学習グループ

年間指導計画

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・数学		学習グループ名	中③	
目標・ねらい	(1)身近な物の名前や動きの言葉、様子を表す言葉を知り、語彙を増やす。 (2)提示された絵本や教材等に視線を向けて、注視する。 (3)各々の見る力、聞く力、表現する力を維持する、高める。				
担当教職員 *学校介護職員	上原千穂 小林真 *赤林ひろみ				
年間授業時数	210 単位時間				
使用教科書	こくご☆☆☆ さんすう☆☆☆				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	・物語の読み聞かせ ・数に親しもう	30	○読み聞かせ 体験活動 ◆提示された絵本等を見る。(注視、追視) ◆登場人物の言葉のやり取り、音、動きに興味を向けることができる。 ◆教職員や友達を意識して物語の一場面を実際に体験し理解を深める。 ◆具体物の操作や体験的な活動を通して、数や簡単な話し言葉の理解を深める。		・絵本の提示位置や読み聞かせのスピードに配慮して行う。 ・物語の再現活動では、生徒の見える範囲や手指の動きに配慮して教材を作成したり、配置したりする。
5					
6					
7	・物語の読み聞かせ ・数に親しもう				
9	・物語の読み聞かせ ・数に親しもう	45	○読み聞かせ 体験活動 ◆提示された絵本等を見る。(注視、追視) ◆登場人物の言葉のやり取り、音、動きに興味を向けることができる。 ◆教職員や友達を意識して物語の一場面を実際に体験し理解を深める。 ◆具体物の操作や体験的な活動を通して、数や簡単な話し言葉の理解を深める。		・絵本の提示位置や読み聞かせのスピードに配慮して行う。 ・物語の再現活動では、生徒の見える範囲や手指の動きに配慮して教材を作成したり、配置したりする。
10					
11					
12	・物語の読み聞かせ ・数に親しもう				
1	・物語の読み聞かせ ・数に親しもう	30	○読み聞かせ 体験活動 ◆提示された絵本等を見る。(注視、追視) ◆登場人物の言葉のやり取り、音、動きに興味を向けることができる。 ◆教職員や友達を意識して物語の一場面を実際に体験し理解を深める。 ◆具体物の操作や体験的な活動を通して、数や簡単な話し言葉の理解を深める。		・絵本の提示位置や読み聞かせのスピードに配慮して行う。 ・物語の再現活動では、生徒の見える範囲や手指の動きに配慮して教材を作成したり、配置したりする。
2					
3					
通年	①課題別学習 ②読書活動の充実	105	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動		①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽		学習グループ名	中③	
目標・ねらい	(1) 音や音楽に関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な技能を身に付ける。 (2) 音楽的な表現を楽しみ、関心や興味をもって聴く。 (3) 教員や友達と一緒に音楽活動をする楽しさを感じる。				
担当教職員 *学校介護職員	早坂あまね 上原千穂 小林真 *赤林ひろみ				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	おんがく☆☆☆				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	・季節の歌「さくら」 ・オペラを鑑賞しよう	14	○箏の演奏「さくらさくら」 鑑賞「蝶々夫人」 ◆腕や指先を動かして、箏の音を鳴らす。 ◆映像をよく見て、オペラに関心をもつ。		・自助具を用いて、生徒の動きで楽器の音を鳴らすことができるようにする。 ・生徒の見やすい位置にモニターを設置する。 ・身体の動き、表情、視線、発声など、生徒の表現をよく観察する。
6 7	・季節の歌「夏は来ぬ」 ・「雨」の音楽を鑑賞しよう	12	○歌唱表現「夏は来ぬ」 鑑賞「雨だれ」 ◆表情や発声、身体の動きで気持ちを表現する。 ◆実際の雨音と雨を表現する音楽を聴き比べ、自然音に関心をもつ。		・イラストや写真を用いて、歌詞の内容を説明する。 ・具体物を用いて自然音を再現し、録音する。 ・強弱、音価、テンポなどの音楽表現と関連付ける。
9 10	・季節の歌「村祭り」 ・お祭りの音楽を鑑賞しよう	14	○和太鼓演奏「村祭り」 鑑賞「阿波おどり」「エイサー」 ◆腕や指先を動かして、和太鼓や鉦を鳴らす。 ◆お祭りの踊りや音楽から雰囲気を感じ取る。		・自助具を用いて、生徒の動きで楽器の音を鳴らすことができるようにする。 ・生徒の見やすい位置にモニターを設置する。 ・身体の動き、表情、視線、発声など、生徒の表現をよく観察する。
11 12	・音の響きを味わおう ・パレエを鑑賞しよう	14	○音積み木演奏「星に願いを」 鑑賞「くるみ割り人形」 ◆腕や指先を動かして、音積み木を鳴らす。 ◆和音を聴き比べて、違いを感じる。 ◆音楽表現と身体表現の関連に気付く。		・自助具を用いて、生徒の動きで楽器の音を鳴らすことができるようにする。 ・生徒の見やすい位置にモニターを設置する。 ・身体の動き、表情、視線、発声など、生徒の表現をよく観察する。
1 2	・季節の歌「ペチカ」 ・音楽のおもちつき	10	○歌唱表現「ペチカ」 フロアタム合奏「音楽のおもちつき」 ◆表情や発声、身体の動きで気持ちを表現する。 ◆腕や指先を動かして、フロアタムを鳴らす。 ◆教職員や友達と一緒に演奏する楽しさを味わう。		・イラストや写真を用いて、歌詞の内容を説明する。 ・自助具を用いて、生徒の動きで楽器の音を鳴らすことができるようにする。 ・身体の動き、表情、視線、発声など、生徒の表現をよく観察する。
3	・季節の歌「どこかで春が」 ・卒業式に向けて		○歌唱表現「どこかで春が」 [校歌] ◆表情や発声、身体の動きで気持ちを表現する。 ◆卒業式に向けて見通しをもち、気持ちを高める。		・イラストや写真を用いて、歌詞の内容を説明する。 ・身体の動き、表情、視線、発声など、生徒の表現をよく観察する。
通年	始まりの歌 終わりの歌	—	○呼名 クールダウン ◆表情や発声、身体の動きなどで呼名に応じる。 ◆静かな音楽に耳を傾けて、気持ちを落ち着ける。		・身体の動き、表情、視線、発声など、生徒の表現をよく観察する。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	美術		学習グループ名	中③	
目標・ねらい	(1)形や色などに気付き、材料や用具を使おうとする。 (2)表したいことを思いついたり、作品を見たりする。 (3)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。				
担当教職員 *学校介護職員	上原千穂 小林真 *赤林ひろみ				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なないろのクラ (UD絵本)				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	ストリングアート	14	○好きな感触や太さの紐に絵の具を付けて用紙に挟み、紐を引っ張るストリングという技法で作品を作成する。 ◆異なる素材の質感に触れ、形や感触に関心をもつ。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・友達の作品を鑑賞する機会を設定する。
5					
6	寒天で作ろう	12	○色水を固めた寒天を使って、紙に色を付ける。 ◆柔らかい感触や冷たい温度を感じて受け入れる。 ◆画用紙に色が付いたり混ざり合ったりする変化を楽しむ。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・友達の作品を鑑賞する機会を設定する。
7					
9	空を描こう	14	○空の写真を撮ったり、画像を見たりして、キャンパスにグラデーションで空を描く。 ◆時刻による景色の違いに気付く。 ◆キャンパスに色がついたり混ざり合ったりする変化を楽しむ。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・友達の作品を鑑賞する機会を設定する。
10					
11	季節の飾りを作ろう	14	○画用紙に様々な素材の紙を切り貼りし、コラージュする。 ◆様々な国の文化に触れ、季節の飾りを制作する。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・友達の作品を鑑賞する機会を設定する。
12					
1	思い出を飾ろう	10	○様々な素材で飾り付けたボードに思い出の写真を貼る。 ◆写真を見て中学部の3年間を振り返る。 ◆教職員とコミュニケーションをとりながら、素材や色、配置を選択する。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・友達の作品を鑑賞する機会を設定する。
2					
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育		学習グループ名		③学習グループ
目標・ねらい	(1) 様々な運動経験を通じて、身体を動かす楽しさや喜びを味わう。 (2) 粗大運動や微細運動などを経験し、ボディイメージの向上を図る。 (3) 具体物を直接的または間接的に操作して、主体的に運動へ参加する気持ちや仲間と協力しながら活動へ参加する意欲を育む。				
担当教職員 *学校介護職員	小林真 上原千穂 *赤林ひろみ				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	からだのえほん④からだにもしもし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	体育祭に向けて	2	○体育祭種目 ◆体育祭に向けて、昨年度の競技種目を振り返る。		・生徒の実態や機能面を配慮して、身体を動かすようにする。
5		3	○体育祭種目 ◆体育祭に向けて参加競技の活動を理解する。 ◆複数の種目を体験したり、仲間の運動に注目したりすることができる。		・生徒の主体的な動きを引き出せるように、姿勢を調整したり補助具を使用したりする。 ・手本を示しながら、始めは一緒に種目を行い徐々に支援を減らす。
6		2			
6	水泳	2			
7		2	○浮き身、歩行、水中エアロビクスなど ◆浮力を感じたり、水中で身体を動かす心地良さを感じたりする。 ◆音楽に合わせて身体を動かしたり、水流を感じたりすることができる。		・生徒の身体に合わせた浮き具を使用する。 ・体温調節が難しい生徒については、温水の小プールを使用する。
9		4			
10	選択種目	4			
11		4	○①風船バレー、②棒倒し ◆腕や手などを動かして、自分なりの方法で主体的に運動することができる。 ◆道具や補助具を操作して運動することができる。 ◆意欲的にゲームへ参加することができる。		・競技で使用する道具の大きさを調整し、主体的に操作できるようにする。 ・音楽やBGMを使用してゲームの雰囲気演出する。
12		3			
1	球技	3			
2		4	○ハンドサッカー(シュート) ◆ボールや道具を操作し、設定時間内にシュートができる。 ◆仲間とゲームを楽しむことができる。		・生徒の実態や機能面を考慮した課題を設定する。 ・30秒から60秒で達成できる課題を設定する。
3		2			

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	
教科等名	特別活動		学習グループ名		
目標・ねらい	(1) 自分の役割を意識し、学習したことを発揮することができる。 (2) 集団の中で相手の気持ちを受け止めたり、自分の気持ちを自分なりの表現で伝えたりすることができる。 (3) 友達と協力し助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。				
担当教職員 *学校介護職員	梅原 諒 中村 美和 小林 真 上原 千穂 赤林 ひろみ				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4	新入生歓迎会	3	○活動内容について意見を出し合い、協力して準備をする。 ◆新入生歓迎会の準備を行い、1年生を温かく迎える。		・出し物等に見通しをもてるよう、どんな活動があるか、例示する。
5	体育祭	6	○体育祭の競技種目を知り、練習する。 ◆体育祭に見通しをもち、仲間と協力して参加する。		・体育祭の種目が分かりやすいよう、昨年度のビデオを見るなどの活動を行う。
6					
7	墨東祭準備①	3	○墨東祭の発表内容を協力して考える。 ○小道具や背景などを作成する。 ◆墨東祭の発表内容と、何が必要かを協力して考える。		・一人一人ができること、得意なことをもとに出し物を考えるよう言葉かけをする。
9	墨東祭準備②	6	○小道具や背景などを作成する。 ○発表の練習をする。 ◆墨東祭に向けて自分の役割を自覚し、練習する。		・それぞれの役割に自信をもって取り組めるよう、練習の時間を多く設定する。
10					
11	修学旅行	4	○スライド教材を見て、日程や行程について確認する。 ○修学旅行に向けて事前準備をする。 ○修学旅行を終えて頑張ったことなどを発表する。 ◆修学旅行について見通しをもつ。		・修学旅行に見通しをもてるよう、昨年度の写真や映像などの資料を用意する。
12	墨東祭	4	○発表の練習をする。 ○墨東祭の振り返りを行う。 ◆墨東祭を振り返り、自身や仲間の頑張ったこと実感する。		・自身の墨東祭の様子を振り返ることができるよう、写真や映像などを使用する。
1	入学相談について	4	○入学相談に向けて流れの確認をする。 ○入学相談での面談の練習を行う。 ◆入学相談の見通しをもつ。		・入学相談や面談の流れなどを確認し、練習することで見通しをもてるようにする。
2	3年生を送る会準備	2	○発表内容を考え、準備する。 ◆在校生に感謝の気持ちを伝えるにはどうしたら良いか話し合う。		・発表内容をイメージできるよう、今までの活動などを振り返る。
	卒業に向けて	3	○卒業生の言葉を考え、練習をする。 ○証書授与の練習をする。 ◆卒業生の言葉、証書授与の練習を通じて、卒業への意識を高めることができる。		・卒業式当日の雰囲気を感じて見通しをもてるよう、本番となるべく同じ体制で体育館練習を行う。
3					

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動		学習グループ名		中③
目標・ねらい	(1)身近な友達と協力し、助け合い、人間関係を育み、集団生活の充実を図る。 (2)生理的基盤を整えて体調の安定を図り、心身ともに健康な状態を保持する。 (3)教員と関わりながら個別の課題に向かい、個々の感覚や運動機能の向上を目指す。				
担当教職員 *学校介護職員	上原千穂 小林真 *赤林ひろみ				
年間授業時数	420 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通年	朝の活動	175	○朝の会 挨拶、月日、天気の確認、呼名、予定の確認、歌 ◆当日の予定の確認をし、見通しをもって活動に取り組むことができる。 ◆コミュニケーションをとる準備をすることができる。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・イラストや写真を用いて、視覚的に理解しやすいようにする。
	個別の課題	210	○健康観察 水分摂取 排せつ指導 認知課題 身体の取り組み ◆手の操作性、思考・判断・理解力、コミュニケーション力を伸ばすことができる。 ◆体調を整え、心理的安定と健康の維持・増進を図り、身体の変形・拘縮を予防することができる。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・個々の課題に合わせた課題設定を行う。
	特設自立活動	35	○腰や背中、肩周辺の動きを改善するリラクゼーション、上肢、下肢のストレッチ、身体ひねり、姿勢変換、体幹保持の練習をする。 ○大型遊具、立位台、ピーナツバルーンなどを用いた保有する感覚へ働きかける活動をする。 ○手指の操作性を高める活動を通して、コミュニケーションの力を高める。 ◆個々の実態に応じて重点的な課題に取り組むことができる。		・生徒の表情や視線、発声、身体の動きなどをよく観察して、表出を受け止める。 ・外部専門員や自立活動部の教員と課題を共有して、連携して取り組む。

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導		学習グループ名	中③	
目標・ねらい	(1) 友達や教職員から挨拶を受けたとき、返事ができる。 (2) 個々の食べる課題(捕食～嚥下)に応じて食機能を向上させ、安全に食べる。実施者とコミュニケーションを取りながら、気持ちをリラックスさせて安全な注入ができる。 (3) 排せつへの意識を高め生理的リズムを整える。				
担当教職員 *学校介護職員	小林真 上原千穂 *赤林ひろみ				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
通 年	挨拶		○廊下ですれ違う友達や教職員との挨拶 ◆挨拶を受けたとき、声、タッチ、視線、笑顔など、自分なりの表現方法で返事をすることができる。		・挨拶を受けたときは、本人からの表現が出るまで待つようにする。
	食事		○上唇を使った取り込み、安定した租借、安全な嚥下、気持ちのコントロール、友達や教職員とのコミュニケーション ◆個々の食事に関する課題や栄養注入時の課題に応じて、それぞれの課題を達成することを目指し、安全な食事ができる。		・食事や注入中の友達や教職員とのコミュニケーションを切にする。 ・摂食機能の向上を高めるように、関係者と検討をしていく。
	排せつ		○排せつ、おむつ替えなど ◆排せつ後の不快感やきれいになった後の心地よさを伝え、コミュニケーションの力を高める。		・おむつ替えなど1対1位のやり取りを大切に する。 ・プライベートに関することを配慮し、人権的な関わりを大切にする

令和6年度(2024年度) 都立墨東特別支援学校(肢体不自由教育部門) 年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習		学習グループ名	中③	
目標・ねらい	(1)五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を使って、様々な活動を体験し、興味・関心を広げる。 (2)様々な体験的な活動や季節を感じる活動を通して、生活経験の幅を広げたり、余暇活動につなげたりする。 (3)身近な友達や教職員との活動の楽しさを味わい、共感する。				
担当教職員 *学校介護職員	小林真 上原千穂 *赤林ひろみ				
年間授業時数	140 単位時間				
使用教科書	新装版はじめましてせかいちず 科学シリーズどうぶつえんガイド				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)		指導上の留意点及び工夫
4 5	季節を感じよう~春~	16	○動植物の観察や季節に関連した制作をする。 ◆校庭などで自然の事物などに触れ、戸外の心地よさや季節を感じるができる。		生徒の表現を待ち、できたときに共感するように言葉掛けをする。
6	染め物づくり①	10	○野菜などを使って、ハンカチなどを染める。 ◆身近な素材を使うことによって色の変化などを感じる。		生徒の表現を待ち、できたときに共感するように言葉掛けをする。
7	季節を感じよう~夏~	8	○夏に関する音(虫の声、花火、お祭り)や映像を見たり聞いたりする。 ◆夏に関する物や音などに触れ、季節を感じるができる。		生徒の表現を待ち、できたときに共感するように言葉掛けをする。
9	外国語に触れよう	12	○外国の歌で手遊びやダンスをする。(ALT) ◆外国の歌やゲームを通して、外国語に親しむことができる。		友達の活動に注目できるように、言葉掛けし、楽しい雰囲気です授業を行うようにする。
10	買い物学習	14	○買い物学習を通して、生活経験を積み重ねる。 ◆物品の購入を通して、いろいろな人との関わりを経験する。		安全に移動ができたり、店内で買い物ができるように配慮をする。
11	ハガキづくり①	18	○ティッシュペーパーを使って紙すきではがきを作る。 ◆ミキサーや吸水機などの音や振動を感じ意欲的に活動する。		生徒が作業できるように、スイッチを使ったりする。
12	ハガキづくり②	10	○紙すき作ったはがきで年賀状を作って送る。 ◆日本の文化を体験し、他者への思いを膨らませる。		一人一人の生徒の障害特性に応じ、教材の提示の仕方を工夫する。
1	日本の文化に触れよう	14	○書初めや昔の正月遊びをする。 ◆書き初めや正月遊びを通して、日本の伝統を体験する。		教員の説明や友達の活動に注目できるように、言葉掛けし、楽しい雰囲気です授業を行うようにする。
2	染め物づくり②	14	○野菜などを使って、ハンカチなどを染める。 ◆身近な素材を使うことによって色の変化などを感じる。		一人一人の生徒の障害特性に応じ、教材の提示の仕方を工夫する。
3	一年間のまとめをしよう	10	○まとめ新聞を作る。 ◆一年間の学習を振り返り、まとめたことを発表したり、友達の発表に注目して聞くことができる。		自分の頑張ったところを、口の動きや発声、表情、身体の動き等、自分なりの方法で発表するのを支援する。